

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 鈴木理之
 幹事 三好親
 会報・雑誌委員長 加藤重雄

No. 35

ロータリーを祝おう

100年の歩み

CELEBRATE ROTARY

100 Years 2004~2005年度 RI会長 グレンE. エステス・シニア

きょうの例会

第1089回 平成17年 5月31日(火)

友愛の日

先週の記録

第1088回 平成17年 5月24日(火) 晴

◆“奉仕の理想”

◆出席報告

会員	64(55)名	出席	42名
出席率	76.36 %		
前々回	5月10日(修正出席率)	92.59%	

◆ゲスト紹介

鈴木会長ゲスト 川端 圭さん

三好幹事報告

1. 本日例会終了後、臨時理事役員会を開催致しますので理事役員の方はそのままお残り下さい。

小山副会長挨拶

私は職業柄、全国の美術館を数多く訪れておりますが、その中で最も感銘を受けた久留米の石橋美術館をご紹介します。

石橋美術館はブリジストンの石橋正二郎氏が昭和31年に会社創立25周年記念事業として郷土・久留米の石橋文化センター内に中核施設として建てられ、入口の石の門壁には正二郎の理念である「世の人々の楽しみと幸福の為に」の文字が刻まれています。正二郎が本格的に洋画収集するようになったきっかけは坂本繁二郎との出会いでした。正二郎が久留米高等学校に入学した時の図画の先生で、その後繁二郎は上京し画家として名を成し渡仏して研鑽を重ね帰国後、郷里久留米に居を構えたのが奇しくも同じ町内だったのです。昭和5年のある日、繁二郎から「私の小学校の同級生に青木繁という天才画家がいて数多くの傑作を残したが散逸したままで惜しいから買い集めて小さな美術館を建ててほしい」という依頼を受け洋画が好きだった

こともあり10年余りで数十点の作品を買うこととなり、その中には重要文化財に指定されている〈海の幸〉〈わだつみのいるこの宮〉が含まれています。

その後、正二郎は青木繁、坂本繁二郎以外にも鹿児島出身の黒田清輝、藤島武二、和田英作、福岡出身の児島善三郎、古賀春江、佐賀出身の岡田三郎助など九州出身の洋画家や藤田嗣治、安井曾太郎、梅原龍三郎など日本近代洋画を代表する画家たちのコレクションを加えていきました。正二郎にとって幸運だったのは戦中戦後の混乱期に美術品を手放すコレクターが増え画商を通して作品が自然と集まってきた事とコレクションが疎閑先で戦災に遭わなかった事です。

石橋美術館の素晴らしい所は、故郷に対する深い愛情が根源となっていること。コレクションの中核が近代日本洋画壇の巨星、青木繁と坂本繁二郎の作品であること。又その拡がり明治から戦前の九州出身画家の洋画にとどまっていること。正二郎自身が目利きであり信頼できる画商や識者の意見を聞き直接的にコレクションに関与したこと。美術館の展示室が作家ごとに分かれ代表作はいつ訪れても同じ壁面に展示されていること等が挙げられます。

福岡へお出掛けの折には太宰府天満宮へお参りして久留米の石橋美術館の絵画鑑賞をお薦めします。

※印象派コレクションは東京・京橋のブリジストン美術館に収蔵・展示されています。

◆卓話 “彫刻の楽しみ方” — 愛・地球博によせて —

会員 山本 眞輔 君

彫刻には具象彫刻、抽象彫刻、という分け方と西洋彫刻、日本彫刻、という分け方があります。すでに世の中に存在する形を借りて自分の思想、感情を表現するのが具象彫刻です。具象形の中から抽出した形、今まで世の中になかった形、人の頭のなかで考えだした形、などを使って表現するのが抽象表現です。

日本彫刻とは仏像などと考えて下さい。木彫、乾漆などの技法が使われる伝統的なひとつのジャンルです。西洋彫刻とはギリシャ彫刻からはじまりミケラン

ジェロ、ロダン、そしてブールデルと続き現代の日展などに大きな影響を与えた彫刻の流れです。

今、開催されている「愛・地球博」にも数多くの作品が出品されています。その中のひとつを例にあげ、彫刻とは何か、また作品を楽しむにはどこをどのように見たら良いかを彫刻家の立場からまとめてみます。

イタリア館には、ブロンズ像「踊るサテュロス神—森の神」が展示されています。日本が初の海外展示となり今後イタリア国外で展示される可能性は極めて少ないと言われています。この作品は1998年にシチリア沖で漁船が偶然引き上げた約2400年前のブロンズ像で発見後イタリア国内で修復され昨年、2か月間公開されましたが、瞬く間に世界中の愛好家を魅了した古代芸術の傑作といわれています。制作年代はBC 4世紀ころで「ミロのヴィーナス」と同時代です。日本では縄文式土器時代の終りころにあたりこの頃すでに高度な鑄造技術があったということです。

サテュロスがブロンズ像、ヴィーナスが大理石像です。彫刻には「彫塑」と「彫刻」の2種類があります。石、木などの材料を「彫ったり」「刻んだり」することによって制作されたものを彫刻、といい、木彫、石彫などはこれにあたります。彫塑の「塑」とは湿った土と言う意味で「粘土」をつかって制作されたものです。彫塑の場合は最終的にはブロンズ（銅合金）に置き換えられます。いわゆる鑄造です。この二者を合わ

せて日本では一般的に「彫刻」とよんでいます。したがってサテュロスは彫塑、ヴィーナスは彫刻、ということもできます。最近では科学の進歩により彫刻の世界にも新しい表現材料やそれにとりまなう技術が開発され芸術表現に多様性がみられるようになってきました。その中から新しい価値をもった芸術が生まれることを期待したいものです。

ヨーロッパを旅した人が必ず口にするのが街角や公園に彫刻があるということです。日本とは比較になりません。しかしこれは気候風土、生活様式の違い、時代など様々な条件の結果であり、多ければ良いというものでもありません。要は状況に合った作品が望ましいということでしょう。

作品を楽しむには自分の「心」の中で自分なりの評価の基準を決めて見ることです。「自分の部屋に置くとしたら」、というのもすてきな基準です。たくさんの作品を知る必要はありません。たった一点に惚れること、自分の傍に置きたい一点を決めることが彫刻の楽しみ方の第一歩です。これは絵画の理解、陶器などの観賞の場合も同じです。

次に必要があれば作品の制作年代、材質、大きさ、技法、作者、などを知ることです。サテュロスがその一点になるかどうか試してみてください。すでに私の一点のある人は他の人にその作品が解説できるくらいもっと深く知ってください。

ニコボックス

吉田 節美

国内最大規模のヨットレース「エリカカップ」が22日に三河湾で行われ、約130艇が出艇し、ウチの船は相憎、風もなく大型艇には不利な条件で結果は芳しくありませんでした。

朝日新聞掲載写真の2番手がウチの船です。

山本 眞輔

卓話をさせていただきます。

浅井 誠寿

この時期の楠の美しさ、若々しさが私は好きです。
「粉の花も優なり 樟の若葉どき」

水野 民也

山本君、卓話ごくろうさま

櫻尾 富二

麻雀会で優勝しました。

参加人数は4人で全員が賞をもらいました。

伊藤 健文

ホームクラブ御無沙汰しました。

鈴木 理之

所用にて遅くなります。

油田 弘祐・足立 一郎

在田 忠之・二村 聡

萩原 喜代子・伊豫 田博明

菊池 昭元・小林 明

小山 雅弘・黒須 アイ子

松居 敬二・松永 正史
宮本 光久・宮尾 紘司
三好 親・森 幸一
成田 良治・西川 豊春
佐久間 良治・笹野 義真
鈴木 正男・竹内 三昭
谷口 優・舎人 経源
和田 正敏・渡邊 市玄
山本 英次・吉田

ウォーキングするのに気持ちいい季節となりました。

合計

49,000円

麻雀会成績

於：松楓閣 5/18(水)

RANK	NAME	MARK
優勝	櫻尾 富二	+ 57,000
2位	小林 明	△ 8,000
3位	松居 敬二	△ 20,000
B B	成田 良治	△ 29,000

(参加者 4名)

職業奉仕金言集(職業奉仕委員会より)

その十

「職業の品位を保ち、自ら選んだ職業において、最高度の倫理的基準を推進すべく全力を尽くせ」

臨時理事役員会議題

- 1、新入会員候補者承認の件
- 2、次年度会費請求の件

次回例会

平成17年6月7日(火) 卓 話

“趣味について” 会員 宮尾紘司君